

暑中お見舞い申し上げます。

昨期は、皆様の暖かいご支援、ご協力の賜物によりまして、当わんだふるは、開設以来4年目(NPO法人設立3年目)の活動を予定どおり無事に行うことができました。誠に有難うございます。

今期は、さらに内容を吟味充実させ、当わんだふるの活動が飛躍発展できますよう、関係者一同、力を合わせ邁進いたす所存です。

今期事業開始にあたり、皆様におかれましては、今後共、地域に根ざした当わんだふる

NPO法人わんだふるの活動目標

この法人は、地域に根ざし、地域に愛され、地域のために活動し、地域の防災意識の向上を育むことに関する事業を行い、安心、安全で活力ある住みよい地域を実現するため、地域に集う人達の歓談の場を提供することで、利用者及び地域住民の心の豊かさとコミュニティを実現することを目標として活動しています。

今期重点活動目標 : ①今年度より高崎市から受託した配食事業の拡充を図る。

当法人の沿革 (概略)

- ・平成18年 9月 1日 わんだふるサロン オープン
- ・平成19年 1月26日 日本防災士会群馬県支部設立 県副支部長兼西部支部長拝命
- ・ 6月 6日 NPO法人認定
- ・平成20年 2月14日 高崎市社会福祉協議会より「ふれあい・いきいきサロン」事業に認定
(高崎市では、NPO法人また常設サロンとして、第一号として認定を受ける)
- ・ 7月26日 日本防災士会北関東連絡協議会(群馬・栃木・茨城県)設立

主な活動

- ・平成21年 6月26日 高崎市民課公益事業を受託、8月25日より「ボランティア体験講座」を実施
- 7月10日 「防災アドバイザー」として消防庁国民保護・防災部へ登録
- 9月29日 日本経済新聞の「元気な高齢者に憩いの場」取材を受ける
- 10月25日 ネットワークづくり応援補助事業として「防災・小児救命講習」を高崎市内4カ所で

実施

～12月13日 (若松町・棟高町・飯塚町・城山町)

- 11月15日 ぐんま経済新聞の「防災・小児救命講習」取材を受ける
- 11月18日 毎日新聞の「防災・小児救命講習」取材を受ける
- 11月27日 「高崎市災害時要援護者支援プラン検討委員会」の委員に任命される
- 12月 5日 群馬県の「ネットワークづくり応援補助事業」として「防災・小児救命講習」を玉村

町板

井で実施

- ・平成22年 2月 4日 「高崎市住宅マスタープラン検討委員会」の委員に任命される

実施イベント（22年 1月～ 6月）

（敬称略）

◎ バス旅行

・箕郷蟹沢梅林と白岩観音参拝
開催日：3月1日(月)
参加者：29名



・赤堀花しょうぶ園とあいのやまの湯
開催日：6月7日(月)
参加者：29名



◎ いきいきサロン

・口腔ケア
開催日：5月25日(火)
参加者：5名
講師：高崎市長寿社会



◎ フルート・ピアノ二重奏

開催日：1月30日(土)
演奏者：フルート:岸 敏郎先生



◎ 陶芸教室

開催日：3月16日(火)
講師：福島 たかえ先生
参加者：6名



◎ 読み聞かせと手遊び

開催日：6月19日(土)
講師：読み聞かせグループ
"樹の実"
参加者：14名



☆ わんだふる市民農園

"みんなで野菜をつくりませんか"

4月より、わんだふる市民農園を開設いたしました。

・農園場所：高崎市保渡田町(はにわの里公園北側)

※ 空き区画あり。利用者をご紹介ください。



☆ 給食サービス



4月1日より、高崎市の委託を受け「給食サービス」を始めました。65歳以上のひとり暮らし高齢者、又はふたり暮らし高齢者世帯を対象に、昼食を自宅まで配達すると共に、安否確認なども行います。現在は、わんだふるを中心に配食し、引きこもりがちな方々とのコミュニケーションを図っています。わんだふる独自の安否確認にも好評をいただいております。

※ 22年前半期(22年1月～6月)わんだふる利用者数

- ・常設いきいきサロン 3,315名 カルチャー教室 266名
- ・お出かけサロン(2回実施) 58名 等